



基金運用の透明性を

角田 龍仁議員

どの様に公開していくのか、検討段階だ
副市長

①地方財政の「見える化」

地方自治体が住民や議会等に対する説明責任をより適切に果たし、住民サービスや地方自治体のガバナンスの向上を図る観点から、財政状況資料集や財務書類の活用等により、引き続き、決算情報等の「見える化」を図る必要がある。また、国においても、地方自治体の理解を得ながら、効率的に、決算情報等の「見える化」を進めることが重要である。

地方公会計については、令和6年度に改訂予定の「統一的な基準」を踏まえつつ、毎年度、各地方自治体において、決算年度の翌年度までに財務書類等の作成・更新を行い、分かりやすく公表するとともに、経年・地方自治体間の比較や指標による分析等により、資産管理や予算編成等に活用されることが重要である。国においては、地方自治体における財政マネジメントが強化されるよう、引き続き、財務書類等から得られる情報を公共施設等の適正管理をはじめとする資産管理や予算編成等に活かした事例の収集・公表や、地方公会計に関する専門家の派遣等により、地方公会計の一層の活用を促すとともに、更なる地方公会計の整備・活用のための方策を検討すべきである。

地方自治体の基金は、年度間の財源調整や、特定の事業の複数年度にわたる安定的な執行等のために設けられており、様々な地域の実情を踏まえて、それぞれの判断に基づき管理が行われている。そのため、各地方自治体において、議会、住民等に対して説明責任をより適切に果たしていくことが重要であり、基金の考え方、増減の理由、今後の方針等について公表するなど、引き続き、こうした「見える化」の取組を進めていくべきである。

今後目指すべき地方財政の姿と令和7年度の地方財政への対応等について(概要) 地方財政調査委員 〔後掲〕 19

▲今後目指すべき地方財政の姿（総務省）

問 基金の運用の見える化に向けて、具体的な取り組み計画やスケジュールを示し、早期の実現を目指す考えは。

答 行政の透明性と説明責任の確保につながる重要なものと認識をしている。

問 債券をいくらで何を買ったか、いつ買ったか、期間が何年か、ということも含め基金の透明性を持つため、ホームページ

で公開する考えは。

答 どの様に公開していくのか、検討段階である。

問 含み損があるため、全ての債券を保有し満期以外の物は取り崩す予定はないか。

答 今年度から50%を目指しながら、順次やっていきたい。

問 令和7年度末、債券保有率が90%近く、かなり難しいと思うが秘策は

あるのか。

答 運用益が8千万円近くある。プラスになっていることも考えつつ、50%以下にしていきたい。

問 6年度に満期前の債券を一部売却し、1320万円ほど損失が出た。

透明性を持って報告する事が市民にとって重要では。

答 詳細についての公表をどこまで行うかというのは今後、庁舎内で検討し、実施をしていきたい。

てあげたいと思えば積み立てる。やらなければいけない大きなプロジェクトがある中でこの状態になったのは間違いないでは。

答 現在の基金は、合併前の基金が引き継がれており、町村によってかなり差があった。合併する前に事業計画が立てられ、着々と事業を進めていけば、完了していた事業もあるのではないかと考えている。

その他の質問

●人口減少問題

問 立田地域交流拠点施設整備基金は平成29年から道の駅を整備するために作った基金だが、これから行う佐屋駅周辺整備、学校統合、市街地整備に基金を積み立てる気はあるのか。

答 必要性があれば、当然設定する。

問 家を買う、車を買う、お子さんを大学へ行かせ